

ウォシュレット

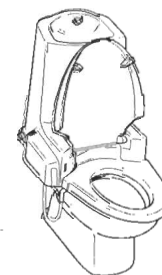
一体形便器ZSRⅡ・I/ZSⅡ・I

CES967・962/CES965・960

取扱説明書

保証書付

TOTO



商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



0120-03-1010

受付時間9:00～17:30(上・日・祝日を除く)

アフターサービスについてのご用命は東陶メンテナンス課へ

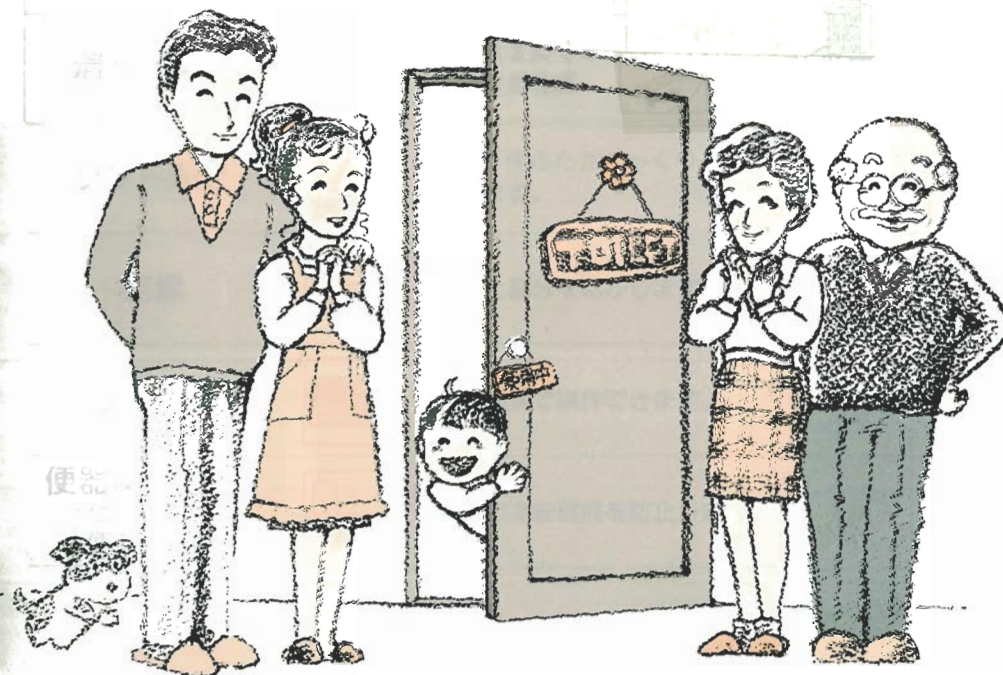


0120-1010-05

受付時間9:00～20:00

※詳しくは本紙のアフターサービスページをご覧ください。

目次
1. 安全に関する事項
2. 取組むべき事項
3. 各部の名称
4. 取組むべき事項
5. 各部の名称
6. 取組むべき事項
7. 各部の名称
8. 取組むべき事項
9. 各部の名称
10. 取組むべき事項
11. 各部の名称
12. 取組むべき事項
13. 各部の名称
14. 取組むべき事項
15. 各部の名称
16. 取組むべき事項
17. 各部の名称
18. 取組むべき事項
19. 各部の名称
20. 取組むべき事項
21. 各部の名称
22. 取組むべき事項
23. 各部の名称
24. 取組むべき事項
25. 各部の名称
26. 取組むべき事項
27. 各部の名称
28. 取組むべき事項
29. 各部の名称
30. 取組むべき事項
31. 各部の名称
32. 取組むべき事項
33. 各部の名称
34. 取組むべき事項
35. 各部の名称
36. 取組むべき事項
37. 各部の名称
38. 取組むべき事項
39. 各部の名称
40. 取組むべき事項
41. 各部の名称
42. 取組むべき事項
43. 各部の名称
44. 取組むべき事項
45. 各部の名称
46. 取組むべき事項
47. 各部の名称
48. 取組むべき事項
49. 各部の名称
50. 取組むべき事項
51. 各部の名称
52. 取組むべき事項
53. 各部の名称
54. 取組むべき事項
55. 各部の名称
56. 取組むべき事項
57. 各部の名称
58. 取組むべき事項
59. 各部の名称
60. 取組むべき事項
61. 各部の名称
62. 取組むべき事項
63. 各部の名称
64. 取組むべき事項
65. 各部の名称
66. 取組むべき事項
67. 各部の名称
68. 取組むべき事項
69. 各部の名称
70. 取組むべき事項
71. 各部の名称
72. 取組むべき事項
73. 各部の名称
74. 取組むべき事項
75. 各部の名称
76. 取組むべき事項
77. 各部の名称
78. 取組むべき事項
79. 各部の名称
80. 取組むべき事項
81. 各部の名称
82. 取組むべき事項
83. 各部の名称
84. 取組むべき事項
85. 各部の名称
86. 取組むべき事項
87. 各部の名称
88. 取組むべき事項
89. 各部の名称
90. 取組むべき事項
91. 各部の名称
92. 取組むべき事項
93. 各部の名称
94. 取組むべき事項
95. 各部の名称
96. 取組むべき事項
97. 各部の名称
98. 取組むべき事項
99. 各部の名称
100. 取組むべき事項



- このたびは、TOTOウォシュレットをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は保証書付きですので大切に保存しておいてください。

ご使用の前に

使用方法

お手入れ・凍結予防他

機能一覧

洗浄機能

洗 浄 機 能		機 種		
		ZSR11 ZS11	ZSR1 ZS1	
おしり洗浄		●おしりを洗います。	☐	☐
ビデ洗浄		●女性のビデとして使えます。	☐	☐
ムーブ洗浄		●ノズルが前後に動き、洗浄効果を高めます。	☐	☐

快適機能

快 適 機 能			機 種	
			ZSR11 ZS11	ZSR1 ZS1
脱臭		●便器内のにおいをとります。	☐	☐
暖房便座		●便座を温めます。	☐	☐
着座センサ		●便座にすわったときだけ各機能がはたらきます。	☐	☐
ソフト閉止		●便座・便ふたがゆっくりと閉じます。	☐	☐
乾燥		●ぬれた部分を乾かします。	☐	—
リモコン		●楽な姿勢で操作できます。	☐	☐
便器凍結防止 (ヒータ付) (便器の場合)		●便器の凍結破損を防止します。	☐	☐

使用の前に

使用方法

お手入れ・凍結予防他

もくじ

ご使用の前に

安全のために必ずお守りください.....	1
各部のなまえ.....	3
ご使用の前に	
リモコン電池の入れかた.....	6
乾電池の取替時期.....	6
ご使用前の確認.....	7

使用方法

つかいかた.....	9
各部温度調節のしかた・脱臭機能のつかいかた.....	11
使用上のご注意.....	12

お手入れ・凍結予防 他

日常のお手入れ.....	14
本体・便座・便ふたのお手入れ.....	15
便器部のお手入れ.....	15
止水栓のお手入れ.....	15
念入りなお手入れ	
本体・便座・便ふたのお手入れ.....	16
ノズルのお手入れ.....	18
ストレーナのお手入れ.....	19

修理を依頼する前に

おしり洗浄・ビデ洗浄.....	20
温風乾燥(ZSR II・ZS IIの場合).....	20
暖房便座.....	21
脱臭.....	21
ソフト閉止.....	21
着座センサ.....	21
リモコン.....	22
その他.....	22
ロータンクの止水位の調整.....	23
手洗い水量の調節(寒冷地仕様の場合).....	25
便器が詰まったとき.....	25

凍結による破損の予防

寒冷地仕様以外の場合.....	26
水抜方式の場合.....	28
水抜方式・ヒータ付便器の場合.....	29
流動方式の場合.....	29
長時間使用しない場合.....	30

アフターサービス.....

ウォシュレットクリーナーのお求め方法.....

仕様.....

保証書

保証書.....

安全のために必ずお守りください

この説明書では、ウォシュレットを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。

ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



必ず守る

- 低温やけどのおそれがあります。
 - 次のような方が暖房便座や温風乾燥をご使用になるときは、周囲の方が便座つまみを「切」、乾燥つまみを「低」にしてあげてください。
 - お子様、お年寄りなど自分で適切な温度調節ができない方
 - 病気の方、身体の不自由な方など思うとおりに動けない方
 - 眠気を誘う薬（睡眠薬・かぜ薬など）を服用された方、深酒をされた方、疲労の激しい方など眠り込むおそれのある方
 - ながい時間便座に座るときは、便座つまみを「切」にしてご使用ください。
- ※低温やけどとは……
一般にやけどといえは高温のものが皮膚に触れておこるものですが、比較的低い温度（40℃程度）のものでも皮膚の同じ箇所に長時間触れていると低温やけどをおこすことがあります。
(状態や個人差によって異なります。)



水場使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所に設置しないでください。
(火災や感電のおそれがあります。)



アース線接続

- アースは、D種接地工事（100Ω以下）を行ってあるか確認してください。
(感電のおそれがあります。)
- 工事が行われていない場合は、お近くの電気工事に依頼してください。



プラグを抜く

- お手入れの前には、漏電保護プラグを抜いてください。
(感電のおそれがあります。)



分解禁止

- 絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
(火災や感電のおそれがあります。)



禁止

- 本体内に水や洗剤を入れないでください。
(火災や感電のおそれがあります。)
- 本体や漏電保護プラグに水や洗剤をかけないでください。
(火災や感電のおそれがあります。)
- 温風吹出し口に指や物を入れたり、ふさがないようにください。
(やけどや感電のおそれがあります。)
- コードを乱暴に扱わないでください。
(火災のおそれがあります。)
- ガタついているコンセントを使わないでください。
(火災のおそれがあります。)



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



一般的な禁止

- 連結ホースを折曲げたり、つぶしたりしないでください。
(漏水するおそれがあります。)
- 便座や本体の上に乗ったり、重いものを乗せないでください。
(割れてけがをするおそれがあります。)
- トイレ用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン、シンナーおよびクレンザー、ナイロンたわしなどの使用は、プラスチックを傷めますのでやめてください。
(割れてけがをするおそれがあります。)
- 本体のケースはプラスチックです。タバコなどの火気類は近づけないでください。
(火災のおそれがあります。)
- トイレトーパー、シートペーパーなど、便器に流してもよいとの表示のあるもの以外は流さないでください。
(便器が詰まり、汚水があふれるおそれがあります。)
- ロータンク内に水洗トイレ用芳香洗浄剤をいれないでください。
(止水不良や洗浄不良のおそれがあります。)
- 手洗い鉢の中に造花芳香剤の飾り物などを置かないでください。
(手洗い鉢から水があふれたり、止水不良のおそれがあります。)
- 洗浄水量を減らすためにロータンク内にビール瓶やレンガなどを入れないでください。
(作動不良や便器が詰まるおそれがあります。)
- 便器に熱湯を注がないでください。
(便器がわれてけがをしたり、漏水するおそれがあります。)
- 便器に衝撃を与えないようにしてください。
(便器がわれてけがをしたり、漏水するおそれがあります。)
- 便器表面に露が発生した場合は乾いた布でふき取ってください。
(床にシミを作ったり、腐せたりするおそれがあります。)



必ず行う

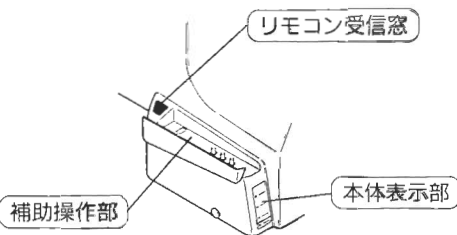
- 鉛筆、ボールペン、くし、歯ブラシなどを便器内に落とした場合は、必ず拾い出してください。
(便器が詰まり、汚水があふれるおそれがあります。)
- 便器が詰まったときには、水を流さず、市販のラバーカップ(商品名)などを使用して、詰まったものを除去してください。除去できない場合は、お取付店に修理を依頼してください。
(便器が詰まっていると、汚水があふれるおそれがあります。)

各部のなまえ

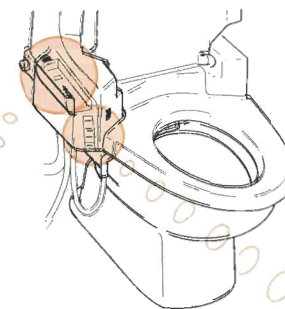
便器手動洗浄部



補助操作部



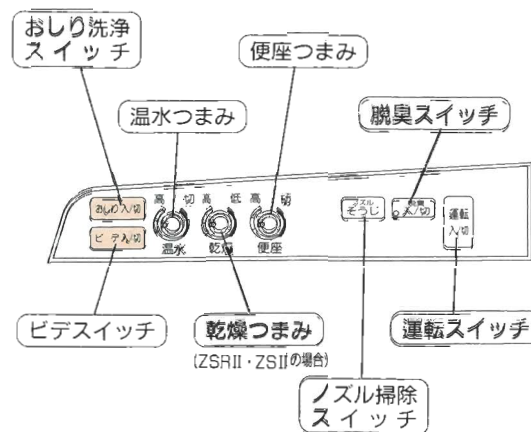
流動方式の場合



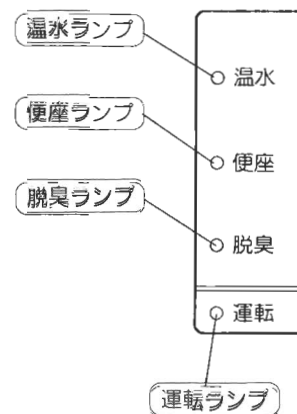
補助操作部

(補助操作部のおしり洗浄スイッチ、ビデスイッチは)
リモコンの電池が切れたときに使ってください。

※補助操作部でおしり・ビデを使うと、リモコン操作部では水勢調節は操作できません。

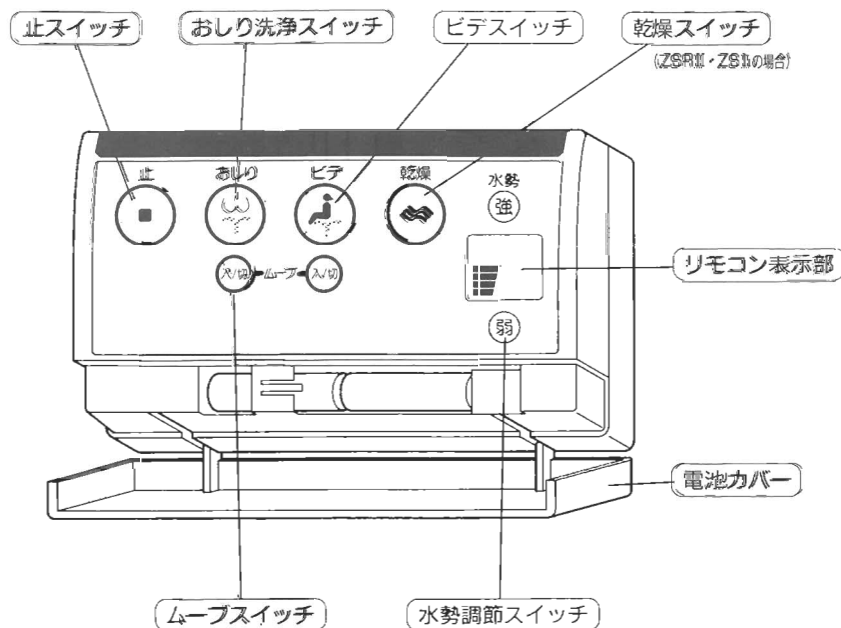
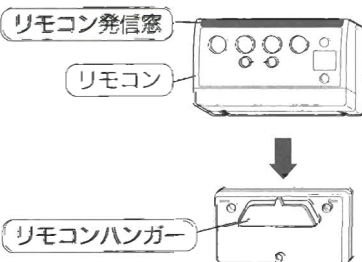


本体表示部



各部のなまえ(つづき)

リモコン操作部



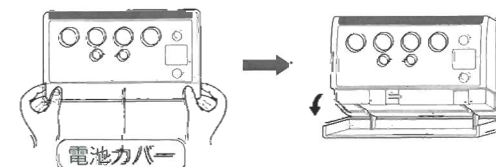
ご使用の前に

(リモコン電池の入れかた)

■リモコン電池の入れかた

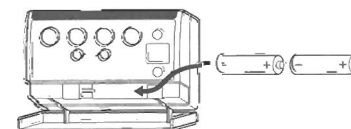
1 電池カバーを開ける

電池カバー両端の突起部に指をかけて手前にひいて開けます。



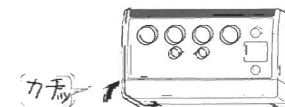
2 乾電池(単3形2個)を正しく入れる

※乾電池の $\oplus$ 表示をよく確かめて入れます。



3 電池カバーを閉じる

電池カバーをカチッと音がするまで押込みます。



(乾電池の取替時期)

リモコンで動かなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。

乾電池の消耗は、目安として電池切れ予告表示の点滅によりお知らせします。



(乾電池についての注意)

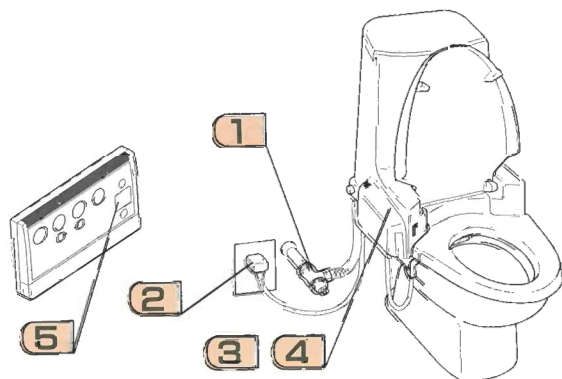
- 充電式のNi-Cd電池は使えません。
- 液もれが原因で故障する場合があります。下記のことに充分注意してください。
 - ・ 充電はしないでください。
 - ・ 同じ種類の乾電池を使ってください。
 - ・ 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。
 - ・ 長期間で使用にならないときは乾電池を取出しておいてください。

※ 乾電池に明記してある注意事項をよくお読みの上で使用ください。

ご使用の前に(つづき)

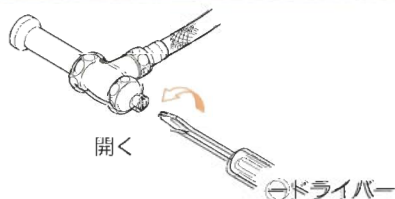
ご使用前の確認

●ご使用になる前に、次の事項を確認してください。

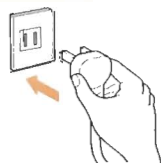


1 止水栓が開いているか

閉まっている場合はマイナスドライバーで開けてください。

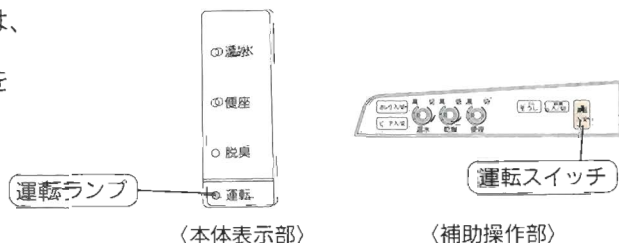


2 電源プラグがコンセントに差込まれているか



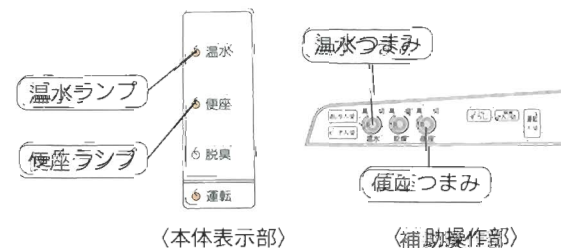
3 本体表示部の運転ランプが点灯しているか

点灯していない場合は、補助操作部の「運転」を押してください。



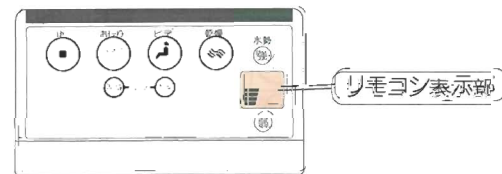
4 本体表示部の温水、便座のランプが点灯しているか

点灯していない場合は、補助操作部の温水、便座つまみを右に回して、ランプが点灯していることを確かめてください。



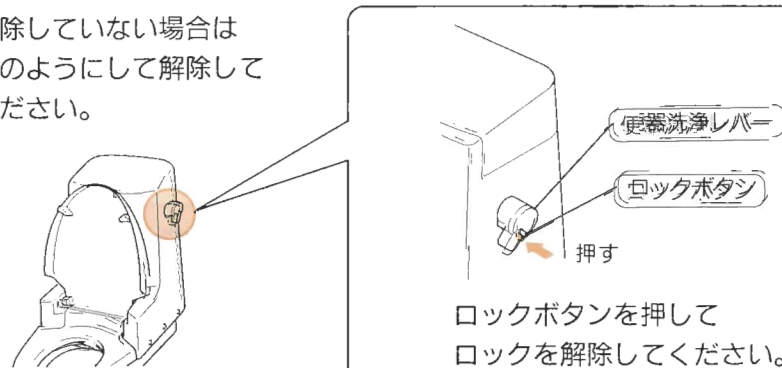
5 リモコン表示部が点灯しているか

点灯していない場合は、6 ページ「ご使用の前に(リモコン電池の入れかた)」をお読みください。



6 便器洗浄レバーのロックを解除しているか(水抜方式の場合)

解除していない場合は図のようにして解除してください。



便座にカバーをお取付けになるときは…TOTO専用カバーをお求めください。
商品についてのお問い合わせは

TOTOお客様相談室 ☎ フリーダイヤル 0120-03-1010

受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)
※市販のカバーでは正しく機能しないことがあります。

つかいかた

※初めてお使いになるときは、まずこの手順でお使いください。慣れてきたら、ムーブ洗浄をおためしになってください。

アドバイス1

- 便座には深く腰かけましょう。洗浄位置が合いやすく、洗浄水の飛び散りが少なくなります。

アドバイス2

- 水勢は弱めで試してみましょう。勢が強すぎてびっくりすることがなく安心してお使いになれます。
- 洗浄位置は体を少し動かしても合わせられます。

1 便ふたを開ける

2 座る

……………着座センサがはたらきます。

（脱臭がはじまります。
洗浄・乾燥が使えるようになります。）

3 用をたす

4 洗う

5 止める

6 かわかす

（ZSRII・ZSIIの場合）

7 止める

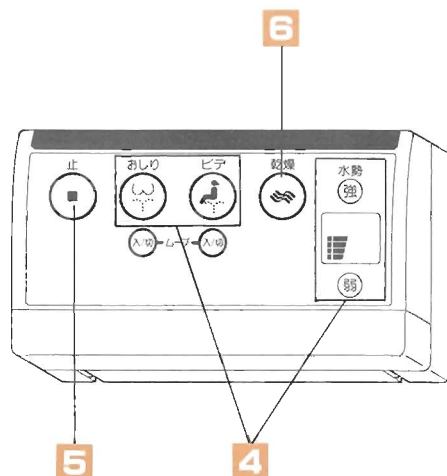
8 立上がる

……………脱臭が

1分後に
止まります。

9 水を流す

10 便ふたを閉める



① お湯を出します。



② 水勢を適当な位置に合わせます。



① トイレットペーパーで水滴をとります。

② 温風をあて、さらりとさせます。

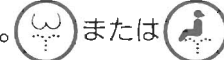


快適洗浄

ムーブ洗浄

ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗います。

① お湯を出します。



② ムーブ入切を押してムーブ洗浄します。

（もう一度ムーブ入切を押すとふつうのおしり・ビデ洗浄に戻ります。）

ちょっと一言

着座センサについて……………

着座センサは人が座ったことを検知するものです。着座を検知すると洗浄・乾燥・脱臭が使えるようになります。着座センサからは右の図のように赤外線が出ています。この赤外線方向線上に人体がくると検知します。次のような場合着座センサがはたらきにくくなることがあります。

- 極端な前かがみ姿勢
- 便ふたにもたれるような姿勢
- 着座センサが衣服で覆われていたり、ゴミや水滴がついている場合
- 光を反射しにくい布地によって洗浄・乾燥・脱臭が動かなくなったり、途中で止まる場合

⇒姿勢をかえてみてください。

⇒着座センサを覆っているものを取り除いてください。

⇒右の図のように衣服を少し持ち上げ、肌を検知するようにしてお使いください。

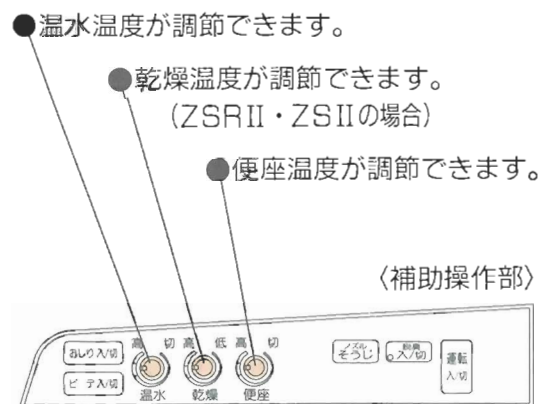


使っていて故障かな!?と思ったら20～22ページをざらんください。

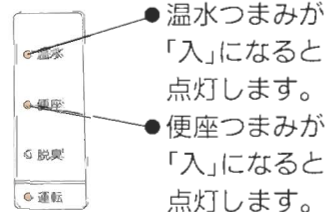
各部温度調節のしかた・脱臭機能のつかいかた

温度調節のしかた

- 各機能の温度は補助操作部でつまみを回して調節します。
右に回すと温度は高くなります。



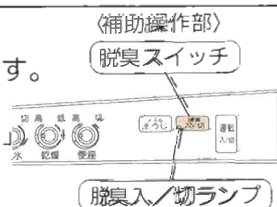
〈本体表示部〉



脱臭機能のつかいかた

準備

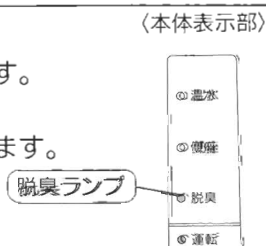
- 脱臭スイッチを押して「入」にします。
(脱臭入/切ランプが点灯します。)
- 使わないときはもう一度押して「切」にします。
(脱臭入/切ランプが消灯します。)



つかいかた

- 便座に座るだけで自動的に脱臭します。
(このとき脱臭ランプが点灯します。)
- 便座から立上がると1分後に止まります。
(脱臭ランプが消灯します。)

※30分以上便座に座っていると脱臭は自動的に止まります。



使用上のご注意

- 次のことをお守りください。

直射日光が当たらないようにしてください。

(変色や暖房便座の温度ムラが生じたり、リモコンで作動しないことがあります。)



座ったままうしろの便ふたに寄りかからないでください。

(傷ついたり、割れたりすることがあります。)



リモコンを床や便器の中に落とさないように注意してください。
(故障の原因になります。)



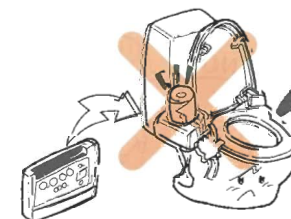
ラジオなどを近づけると雑音が入ることがあります。
ウォシュレットから離れて使ってください。



男子小便時には、洗浄ノズルや温風吹き出し口(ZSRII・ZSIIの場合)に小便がかからないように注意してください。
(故障の原因になります。)



リモコン受信窓をおおわないでください。
(リモコンで操作できなくなります。)



使用上のご注意(つづき)

洗浄中に停電したときはそのままにしておいてください。

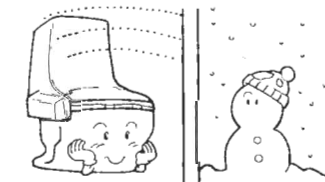
洗浄ノズルは再通電されると自動収納しますので押込まないでください。

(故障の原因になります。)

※再通電時に異音が生じますが故障ではありません。



凍結のおそれがある場合は暖房などしてトイレ内の温度が氷点下にならないようにしてください。



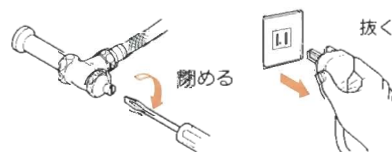
雷が発生しているときは、電源プラグを抜いてください。

(故障の原因になります。)



長期間使用しないときは、止水栓を閉め電源プラグを抜いておいてください。

こうしておけば留守中に万一の故障も起きず安心です。



直流電源や200V電源で使わないでください。

(故障の原因になります。)



日常のお手入れ

警告



●お手入れの前には電源プラグを抜いてください。
(感電のおそれがあります。)

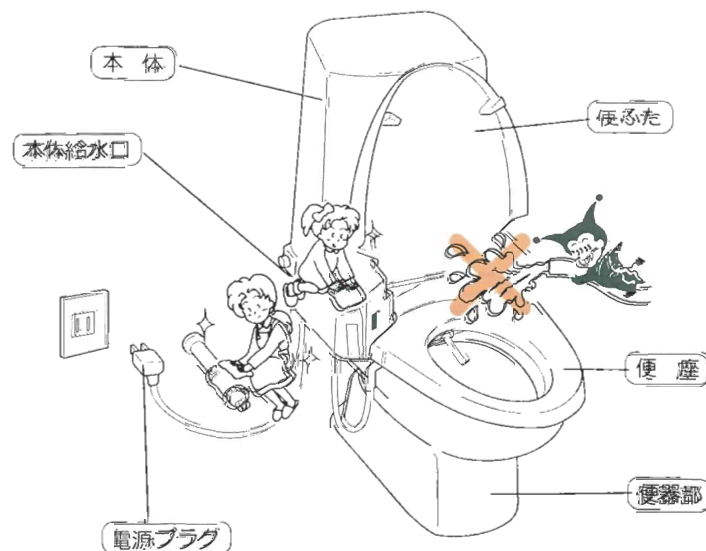


●製品や電源プラグ部に水や洗剤をかけないでください。
(火災や感電のおそれがあります。)

注意



●トイレ用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン、シンナーおよびクレンザー、ナイロンたわしなどの使用は、プラスチックを傷めますのでやめてください。
(割れてけがをなさるおそれがあります。)



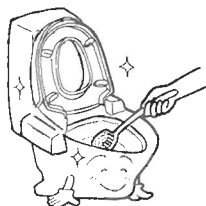
日常のお手入れ(つづき)

本体・便座・便ふたのお手入れ

- かたくしぼった柔らかい布でふき掃除してください。
- 汚れがひどいときは、TOTO便座専用洗剤(ウォシュレットクリーナー)を含ませた布でふき掃除した後、かたくしぼった柔らかい布でふいてください。
※市販の洗剤ではプラスチックなどの割れや変色の原因になることがあります。
- TOTO便座専用洗剤(ウォシュレットクリーナー)のお求めについては32ページをごらんください。
- 消毒するときは逆性石けんをうすめて使用してください。

便器部のお手入れ

- 便器の外面は水ぶきしてください。
洗剤使用後は水ぶきを行ってください。
また、内面は洗淨水で洗われますが水あかや便の状態によっては付着し落ちにくいことがあります。
そのままにしておかずすぐに洗い落とすようにしてください。
- 便器部以外の部分にトイレ用洗剤が付着した場合は水でふき取ってください。
(プラスチックの割れや変色の原因になることがあります。)
- ヒータ付便器の場合
便器にはヒータを組込んでいますので、便器や床に水をかけないでください。
また、小便などが便器から飛び散ったときは、すぐにふき取ってください。



止水栓のお手入れ

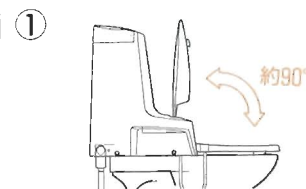
- 止水栓はときどきマシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくと、いつまでも美しい輝きを保ちます。

念入りなお手入れ

本体・便座・便ふたのお手入れ

- 便座、便ふたがワンタッチで取はずせますので本体のすみずみまで掃除できます。

1 取りはずす(便ふた・便座の順で取りはずしてください)



便ふた(便座)を垂直にたてます。



右手側から真上に引上げます。
(左手側から引上げても取りはずしができません。)

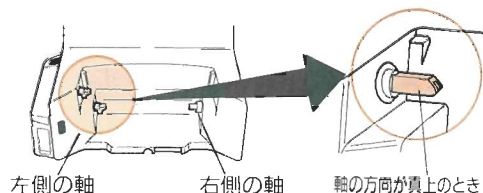
※便座コードははずせません。無理に引張らないでください。

2 掃除する



通常はかたくしぼった柔らかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、TOTO便座専用洗剤(ウォシュレットクリーナー)を含ませた布でふき掃除をした後、かたくしぼった柔らかい布でふいてください。
※便座・便ふたの軸のすきまに水や洗剤をかけないでください。(故障の原因になります。)

3 取付ける(便座・便ふたの順で取付けてください)



左側の軸の方向が真上になっていることを確かめてください。

(真上になっていない場合は、17ページの「ちょっと一言」をごらんください。)

念入りなお手入れ(つづき)

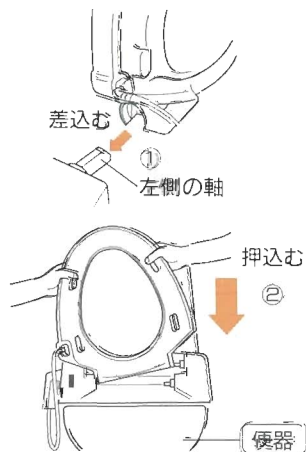
- ①便座(便ふた)を垂直にたてて持ち、
左側の軸になめ上から軽く差込みます。

※右側の軸からは取付けられません。

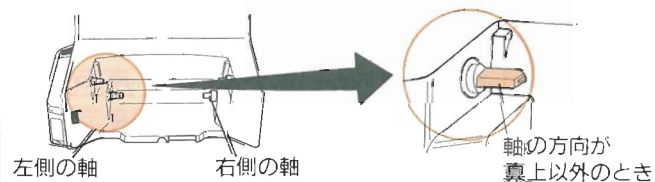
- ②右側の軸に真上から押込みます。

※無理に力を加えないでください。

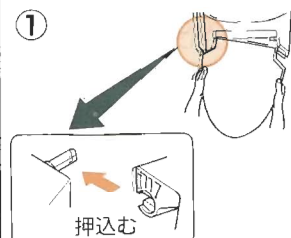
※便座コードのねじれがないことを
確認してください。



ちょっと一言



左側の軸の方向が真上になっていないときは次の手順で取付けてください。



便ふた(または便座)の軸穴を左側の軸の方向に合わせ、なめにして押込みます。

※右側の軸には押込まないでください。



そのまま便ふた(または便座)をゆっくりと真上に立てます。(軸が真上に戻ります。)



真上に立てた状態で右側の軸穴に押込みます。

ノズルのお手入れ

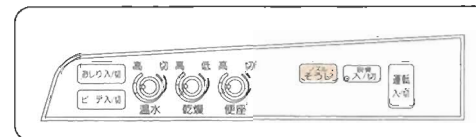
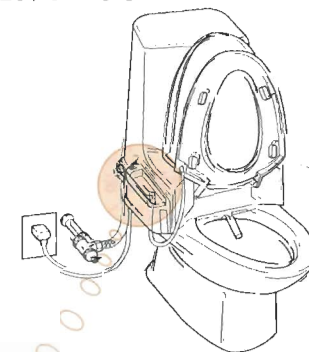
- を押すとノズルが伸出しても吐水はしません。

1 ノズルを出す

便座・便ふたをたて、補助操作部の を押します。

(ノズルが伸出します。)

- ※ を押してから5分経過すると自動的にノズルが収納します。

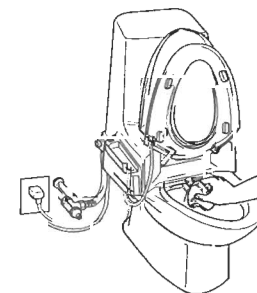


2 掃除をする

柔らかい布で水ぶきしてください。

- ※汚れがひどいときはTOTO便座専用洗剤(ウオッシュレット クリーナー)を含ませた布でふき取った後、水ぶきしてください。

- ※ノズルの先端を無理に引張ったり、回したりしないでください。



3 ノズルを収納する

再び を押します。

(ノズルが収納し、自動的にノズルを洗浄します。)

念入りなお手入れ(つづき)

(ストレーナのお手入れ)

● ストレーナが詰まると、ロータンクに水がたまるまでの時間が長くなりますのでお手入れしてください。

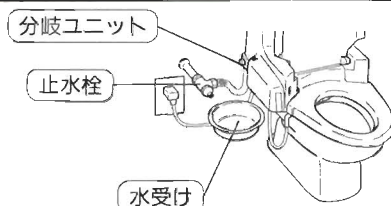
1 止水栓を閉める

止水栓を⊖ドライバーで閉めます。



2 ストレーナふたをはずす

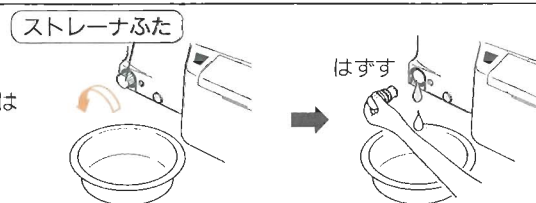
① 分岐ユニットの下に水受けを置きます。



② ストレーナふたを左に回してはずします。

※ ストレーナふたを開閉するときはペンチなどの工具は使わないでください。

(破損の原因になります。)



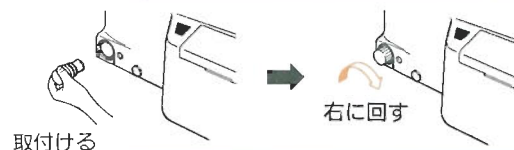
3 掃除をする

ブラシなどで掃除します。



4 ストレーナふたを取付ける

ストレーナふたをもとの位置にもどし、右に回して取付けます。



5 止水栓を開ける

止水栓を左に回して開けます。

※ 漏水がないことを確認してください。



修理を依頼する前に

⚠ 警告



修理技術者以外の方は分解したり、修理・改造は行わないでください。
(火災や感電のおそれがあります。)

修理を依頼する前に次のことを確認してください。

(おしり洗浄・ビデ洗浄)

現 象	原 因 (理由)	処 置 (対応)
洗浄水が出ない	止水栓・分岐ユニット止水栓が閉まっていますか。	止水栓を開いてください。 7 ページ
	運転ランプが消灯していませんか。	運転スイッチを押してください。 7 ページ
	水抜きレバーが「水抜き」位置になっていませんか。	水抜きレバーを「通常」位置にしてください。 30 ページ
	着座センサがはたらいていますか。	着座センサについての （ちょっと一読） をご覧ください。 10 ページ
水勢が弱い	水勢の設定が弱くなっていませんか。	リモコンの （強） を押してください。 10 ページ
	ストレーナが詰まっていますか。	ストレーナを掃除してください。 19 ページ
洗浄水が冷たい	温水つまみが「切」になっていませんか。 ('切'になっていると温水ランプが消灯しています。)	温水つまみで温度を調節してください。 11 ページ
洗浄水が途中で止まった	（一時停止） または （停止） を押してから、5 分後に自動的に止まります。	再度 （一時停止） または （停止） を押してください。

(温風乾燥 (ZSRII・ZSIIの場合))

現 象	原 因 (理由)	処 置 (対応)
温風温度が低い	乾燥つまみが「低」になっていませんか。	乾燥つまみで温度を調節してください。 11 ページ
温風乾燥が途中で止まった	（一時停止） を押してから10分後に自動的に止まります。	再度 （一時停止） を押してください。
温風乾燥が途中で立上がっても止まらない	温風乾燥の停止は着座センサと連動していません。	（強制停止） を押して止めてください。 9 ページ

修理を依頼する前に (つづき)

(暖 房 便 座)

現 象	原 因 (理由)	処 置 (対応)
便座が暖か ならない	便座つまみが「切」になっていませんか。 (「切」になっていると便座ランプが消灯しています。)	便座つまみで温度を調節して ください。 11ページ

(脱 臭)

現 象	原 因 (理由)	処 置 (対応)
脱臭が作動 しない	脱臭スイッチが「切」になっていませんか。 (「切」になっていると脱臭ランプが消灯しています。)	脱臭スイッチを押して「入」にして ください。 11ページ
	着座センサがはたらいていますか。	着座センサについての (ちょっと一瞥) を ご覧ください。 10ページ
脱臭が途中で作 動しなくなった	30分以上座っていると自動的に止まります。	座りなおすと作動します。
あまり臭いがと れないときがあ る	臭いの感じ方は人によって異なります。 また、体調や環境条件によっても異なります。	脱臭機能を入・切にして効果 を確認してください。
脱臭が勝手に作 動した	便座を開閉したとき、着座センサが感知して作動 することがあります。 故障ではありません。	

(ソフト閉止)

現 象	原 因 (理由)
便座・便ふたカ バーをつけると 閉まる速さが速 くなった	カバーの重さで少し速くなります。 故障ではありません。
夏と冬で閉まる 速さが変わった	室温変化や使用頻度によって少し速さが変わります。 故障ではありません。

(着座センサ)

現 象	原 因 (理由)	処 置 (対応)
便座に座ってい ないのにスイッ チを押すとおし り(ビデ)洗浄が 作動する	着座センサがおおわれているか、又は便座の上に トイレットペーパーなどを置いていませんか。	着座センサを雑布などで おおわないようにして ください。
便座に座ってい るのにおしり (ビデ)洗浄が作 動しない	座り方・服の色・生地によって着座センサが 感知しにくいことがあります。	なるべく深く腰をかけたり、 衣服を少し持ち上げ、肌を検 知するようにしてご使用くだ さい。 10ページ

(リモコン)

現 象	原 因 (理由)	処 置 (対応)
リモコンで操作 できない	電池が消耗していませんか。	新しい電池に交換して ください。 6ページ
	電池の⊕⊖の方向をまちがえていませんか。	電池を正しく入れて ください。 6ページ
	リモコンの受信窓が何かでおおわれて いませんか。	雑布などおおっているものを 取除いてください。
	着座センサがはたらいていますか。	着座センサについての (ちょっと一瞥) を ご覧ください。 10ページ

(そ の 他)

現 象	原 因 (理由)	処 置 (対応)
ロータンクに水 がたまるまでの 時間が長い	止水栓が十分に開いていますか。	止水栓を十分に開けて ください。 7ページ
	ストレーナが詰まっていますか。	ストレーナを掃除して ください。 19ページ
汚物がきれいに 流れない	ロータンクの止水水位が低くなっていますか。	ロータンクの水位を調整して ください。 23～24ページ
	便器が詰まっていますか。	便器の詰まりを取ってくださ い。 25ページ
便器の水が 止まらない	ロータンクの止水水位が高くなっていますか。	ロータンクの水位を調整して ください。 23～24ページ
手洗いの水が 少ない(多い)	水量調整バルブが適度に調整されていますか。 (寒冷地仕様の場合)	水量調整バルブを調節して ください。 25ページ
本体から「ジュ ー」「ジー」とい う音がする	洗浄水を温めるときの音です。 故障ではありません。	

※上記の処置(対応)でもなおらないときは、お求めのお取付工事店・販売店または
東陶メンテナンス株式会社 フリーダイヤル 0120-1010-05 に修理を依頼してください。

修理を依頼する前に(つづき)

(ロータンクの止水位の調整)

1 ケースふたを取りはずす

手洗いなしの場合

- ① ケースふたの後方を上げながらはずします。

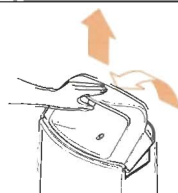


- ② 中ふたをはずします。



手洗い付の場合

- ① ケースふたの後方を上げながらはずします。



- ② 手洗い管チューブはつないだまま、ケースふたを横に置きます。
※ケースにキズつかないように注意してください。



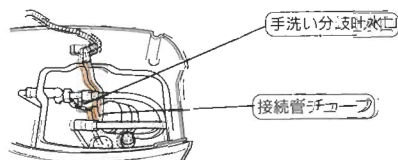
- ③ 中ふたをはずす。

- ④ 接続管チューブ(茶色)をはずす。

止水位の調整をするとき、ケースふた(手洗い部)からも水が流れます。次の手順でケースふたへの水をロータンクに流すようにしてください。

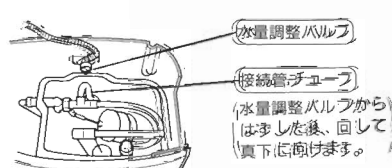
寒冷地仕様以外の場合

- 接続管チューブを手洗い分岐排水口からはずします。

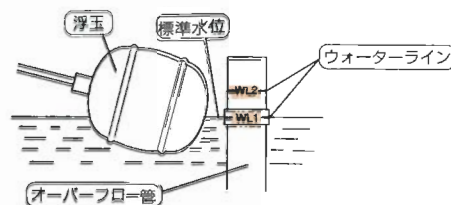


寒冷地仕様の場合

1. 接続管チューブを水量調整バルブからはずします。
2. 下図のように接続管チューブを回して真下に向けます。



2 水位の調節

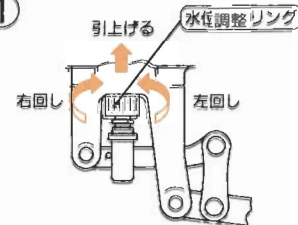


ロータンクの止水位をオーバーフロー管のWL1の位置に合わせます。

※洗浄不良防止のため、止水位は確実に合わせてください。

※既設便器(旧ZG、ZS)に取付ける場合はWL2に合わせてください。

①

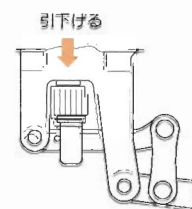


浮玉を軽く手で押さえながら水位調整リング(白色)を引上げて回し、ウォーターライン(オーバーフロー管にWLと表示)に止水位を調整します。

※止水位の上がり、下がりの確認は、一度便器の水を流して水位を下げた後、自然に止まる水位で確認してください。

※上から見て右に回すと水位が上がり、左に回すと水位が下がります。↓回転回すと水位が約9mm変わります。

②



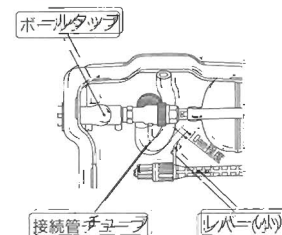
調整後は、水位調整リングを引下げて確実にロックします。

3 接続管チューブを接続する(手洗い付の場合)

※接続管チューブを確実に接続してください。(漏水の原因になります。)

※接続管チューブをボールタップに差し込んだ状態でレバー(小)と接続管チューブのすきまを10mm程度確保してください。

(接続管チューブとレバー(小)が干渉して便器洗浄不良の原因になります。)



4 中ふた、ケースふたを取付ける

※手洗い付の場合は、手洗い管チューブが折れないように注意してください。

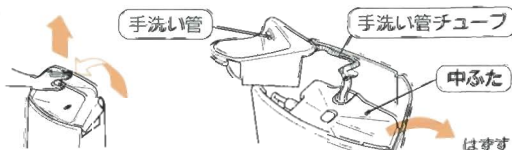
修理を依頼する前に(つづき)

手洗い水量の調節(寒冷地仕様の場合)

- 給水圧力の変動により手洗い水量が増減したときは、次の要領で水量を調節してください。

1 ケースふたを開ける

- ケースふたの後方を上げながらはします。
- 手洗い管チューブはつないだままケースふたを横に置きます。
※ケースにキスがつかないように注意してください。
- 中ふたをはします。



2 手洗い水量の調整

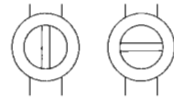
水量調整バルブを⊖ドライバーで調整します。

※このとき水は流さないでください。水を流すと本体内に水がかかり、故障するおそれがあります。



水量調整は90°の範囲でできます。

最大 最小



3 中ふた・ケースふたを取付ける

※手洗い管チューブが折れないように注意してください。

4 手洗い水量を確認する

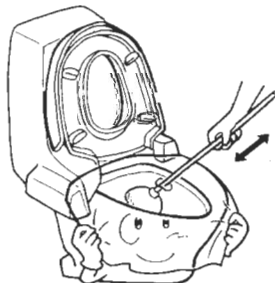
便器の水を流して手洗い水量が適量になったか確認します。

便器が詰まったとき

- 万一、汚物や紙などが詰まったときは、市販のラバーカップ(商品名)などを使用し、次の要領で詰まりを取ってください。

- 便器の排水口をふさぐように、ラバーカップを押しつけます。
- 勢よく押ししたり、引いたり数回繰り返します。

※透明ビニルでカバーしておくとお水が飛び散るのを防ぐことができます。



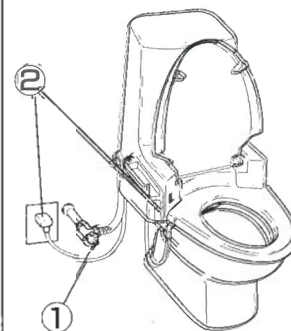
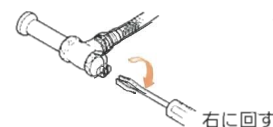
凍結による破損の予防

- 製品が凍結すると機器の破損による水漏れの原因になります。
 - 凍結によって破損すると保証期間内でも有料修理となります。
- 凍結のおそれがある場合は、トイレ内は凍結予防のため暖房などをして周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- なお、暖房ができない場合は、次の要領で水抜きをしてください。

寒冷地仕様以外の場合

水抜きをする前に...

- 止水栓を⊖ドライバーで閉めます。

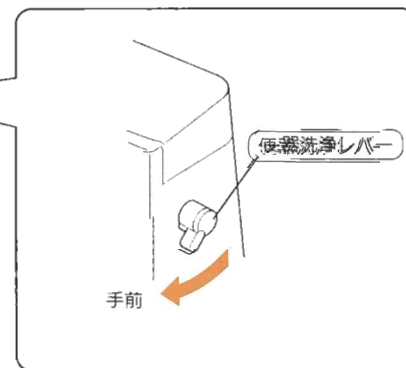


- ウォシュレット内の溜水を保温するため、次の状態にしておいてください。

- 電源プラグは差込んだままにします。
- 運転スイッチ・便座つまみ・温水つまみを「入」の状態にします。(運転ランプ・便座ランプ・温水ランプが点灯します。)

1 ロータンクの水を抜く

便器洗浄レバーを図のように操作してロータンクの水を抜きます。



便器洗浄レバーを手前にまわし、ロータンクの水を抜きます。

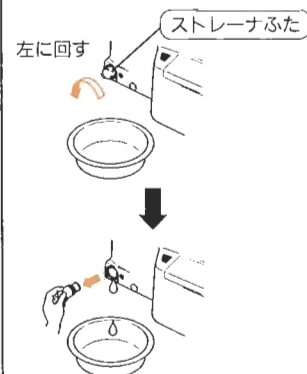
凍結による破損の予防(つづき)

2 配管の水を抜く

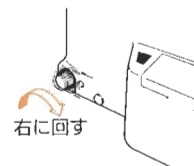
① 分岐ユニットの下に洗面器などの水受けを置きます。



② 分岐ユニットのストレーナふたを左に回します。ストレーナふたをはずして配管の水を抜きます。



③ ストレーナふたを右に回して確実に取付けます。



3 水抜き後に再通水するには…

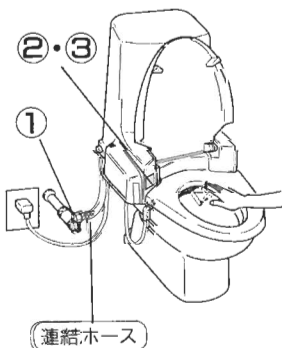
① 止水栓を⊖ドライバーで開けます。
※ロータンクへ給水されていることを音で確かめてください。



残水の凍結のため水が出ないときは…
連結ホースの残水が凍結していることがありますので、トイレ内を暖め、お湯に浸した布で、連結ホースを温めてください。

② 洗浄ノズルから水を吐水させます。
着座センサを白紙などでおい、リモコンの (着座センサ) または (洗浄ノズル) を押して洗浄ノズルから吐水させます。(吐水は手のひらで受けてください。)

③ 白紙などをはずします。

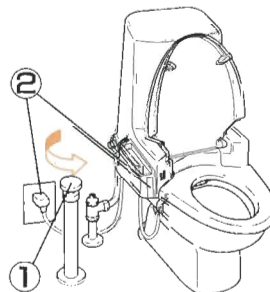


水抜き方式の場合

水抜きをする前に…

必ず次のことを行ってください。

① 水抜き栓を開けます。



② ウォシュレット内の溜水を保温するため、次の状態にしておいてください。

1. 電源プラグは差込んだままにします。
2. 運転スイッチ・便座つまみ・温水つまみを「入」の状態にします。(運転ランプ・便座ランプ・温水ランプが点灯します。)

1 水を抜く



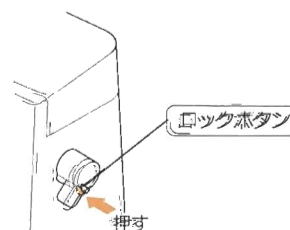
① 便器洗浄レバーを手前に止まるまで回したまま

② ロックボタンを押してロックします。

※水抜き方式以外はロックボタンはありません。

2 水抜き後に再通水するには…

① 再度、便器洗浄レバーのロックボタンを押し、ロックを解除してください。



ロックが解除されると、便器洗浄レバーはもとの位置にもどり、ロータンクへの貯水が可能となります。

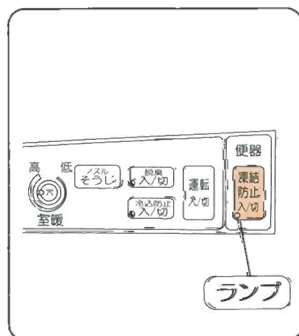
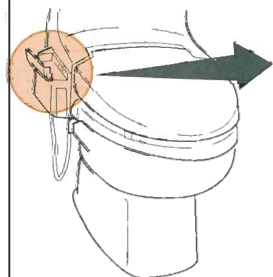
② 水抜き栓を閉めてロータンクへ貯水してください。

※ロータンクへ給水されていることを音で確かめてください。



凍結による破損の予防(つづき)

水抜方式・ヒータ付便器の場合



凍結防止を押します。

(ランプが点灯し、
便器凍結防止運転を
始めます。)

流動方式の場合



ケース本体の流動ハンドルを左に止まるまで
回します。
(便器に水が流れ凍結を防止します。)

※水圧が高い場合、手洗い部からも吐水することがあります。
※ウォシュレット内の溜水を保温するため、電源プラグは
差込んだままにし、運転スイッチ・便座つまみ・温水つまみ
は「入」の状態にしておいてください。

(「入」の状態になると、運転ランプ・
便座ランプ・温水ランプが点灯します。)

長期間使用しない場合

長期間使用しないときは、**ロータンク、配管およびウォシュレット内の水**を抜き、
電源プラグを抜いてください。また、便器の溜水には不凍液を入れてください。

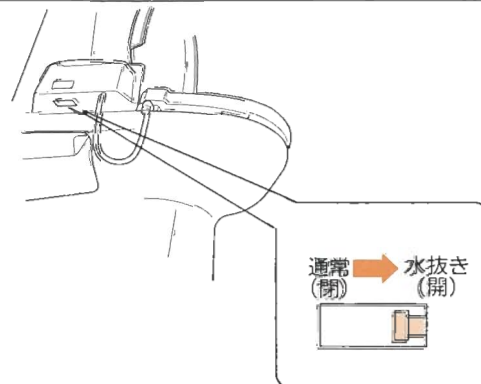
(ロータンク、配管の水抜きのしかたは26～29ページをごらんください。
ウォシュレット内の水抜きのしかたについては下記をごらんください。)

ウォシュレット内の水を抜く

① 止水栓を⊖ドライバーで閉めます。

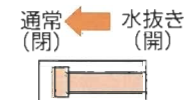


② 補助操作部下の水抜きレバーを
「水抜き」位置に移動させ、
ウォシュレット内の水を抜いて
ください。



※ウォシュレット内の水は
ノズル左側から便器内に抜けます。
※約4分で水が抜けます。

③ 水抜きレバーを「通常」位置に
戻してください。



アフターサービス

保証書(最終ページに添付してあります)

- この取扱説明書は保証書付きです。かならず「店名・取付日」などの記入をお確かめになり保証書をよくお読みのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は取付日から1ヵ年です。

補修用性能部品の最低保有期間

- ウォシュレットの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。
なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

保証期間中に修理を依頼されるとき

- もう一度取扱説明書をよくお読みいただき確認のうえ、なお異常のあるときにはお求めのお取付工事店・販売店または
東陶メンテナンス株 0120-1010-05 フリーダイヤル 0120-1010-05 に修理を依頼してください。
保証書の記載内容により修理します。
- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名
品番(TCF・・・)……※便ふたの裏をごらんください。
お取付日………※保証書をごらんください。
- 訪問ご希望日

保証期間経過後修理を依頼されるとき

- お求めのお取付工事店・販売店または
東陶メンテナンス株 0120-1010-05 にまずご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理します。

定期点検のおすすめ(有料)

- 安心して末永く快適にご使用いただくために、お買い上げより3年以上たったものは定期点検をおすすめします。
なお、点検は**東陶メンテナンス株 0120-1010-05** フリーダイヤル 0120-1010-05 に
ご依頼ください。

お引越されるとき

- 新しく入居される方が製品を安全にお使いいただくためにこの取扱説明書を
新しく入居される方または、取次ぎされる方にお渡しください。

ウォシュレットクリーナーのお求め方法



汚れを
すっきり落とす
除菌剤配合の
便座専用洗剤です。

- ウォシュレットお取付の工事店、販売店または、
当社ショールームにてご購入いただくことが
できます。
- また、フリーダイヤルでのご購入もできます。
詳細については下記をごらんください。

※TOTO製便座以外には使用しないでください。

東陶メンテナンス株 0120-1010-98 フリーダイヤル 0120-1010-98 までお電話ください。

3個口より受け付けいたします。

[受付時間：午前10時～午後5時(土・日・祝日を除く)]

商品品番：YTCF1 希望小売価格：1,000円/個(税別)

送料： 500円 (税別)

容量： 185ml

- ・商品は、ご注文から2週間以内に、宅配便でご自宅にお届けいたします。
- ・送料は、1回のご購入が9個までが500円、これ以上の場合は無料とさせていただきます。
- ・代金(商品代+送料+消費税相当額)は商品をお届けした宅配業者にお支払ってください。
- ・お客様の取扱いミスなどで破損した商品や、一度でもご使用になった商品の返品・交換はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・仕様、価格は改定する場合がございますのでご了承ください。

東陶メンテナンス株式会社 〒131-8506 東京都墨田区向島3丁目44番地1号

仕様

項目		機種*1	右記以外の ZSRⅡ・Ⅰ/ZSⅡ・Ⅰ	TCF965F、TCF960F TCF965LF、TCF960LF	TCF965HY、TCF960HY TCF965HLY、TCF960HLY	
定 格 電 源			交流100V、50/60Hz			
定 格 消 費 電 力			606W		639W	
1 時間あたりの標準消費電力量*2			49Wh (ZSRⅡ・ZSⅡ) 48Wh (ZSRⅠ・ZSⅠ)		ウォシュレット機能のみ 49Wh (ZSRⅡ・ZSⅡ) 48Wh (ZSRⅠ・ZSⅠ) 便器機能のみ 33Wh	
電 源 コード (同アース線長さ)			1.0m			
便 器 機 能	便 器 洗 浄 水 量*3		大10L、小8 L			
	ロ ー タ ン ク 構 造		防露層付			
	タンク実容量		7.5L			
	凍 結 予 防	流動方式	流動水量	—	60L/h	—
		ヒータ付 便器方式	ヒータ容量 安全装置	— —	— —	33W 温度ヒューズ
ウ ォ シ ュ レ ッ ト 機 能	洗 浄 装 置	洗 浄 水 量	おしり洗浄 約0.3～1.1L/min(水圧 0.20MPaのとき) ビデ洗浄 約0.6～1.5L/min(水圧 0.20MPaのとき)			
			温 水 温 度	約30～40℃		
		タ ン ク 容 量	1.6L			
		ヒ ー タ 容 量	500W			
		洗 浄 方 式	ムーブ洗浄機能付			
		安 全 装 置	温度ヒューズ、温度過昇防止器 (手動復帰式バイメタル)、 空焚き防止フロートスイッチ			
		逆 流 防 止 装 置	バキュームブレーカ、逆止弁			
	温 風 乾 燥 装 置 (ZSRⅡ・ ZSⅡの場合)	温 風 温 度	約40～59℃			
		風 量	0.55m ³ /min			
		ヒ ー タ 容 量	500W			
		安 全 装 置	温度ヒューズ			
	暖 房 便 座	表 面 温 度	約30～40℃			
		ヒ ー タ 容 量	84W			
安 全 装 置		温度ヒューズ				
脱 臭 装 置		方 式	O ₂ 脱臭			
リ モ コ ン 電 源 漏 電 検 知 装 置	風 量	0.09m ³ /min				
	リ モ コ ン 電 源	単 3 形乾電池 2 個				
	漏 電 検 知 装 置	回路内蔵				
給 水 圧 力			最低必要水圧：0.05MPa (流動時) 最高水圧：0.75MPa			
給 水 温 度			0～35℃			
周 囲 使 用 温 度 範 囲			0～40℃			
製 品 寸 法			幅47cm、奥行80cm、高さ91cm(手洗いなし) 幅47cm、奥行80cm、高さ97cm(手洗い付)			
製 品 質 量			39.5kg (機能部13.5kg、便器部26kg)			

- *1 品番は便ふたの裏に記載されています。
 *2 機能部については、1日12回使用で年間平均にて計算しています。
 ヒータ付便器の場合の便器部については室温-5℃、水温0℃が24時間続いた場合に試算しています。
 *3 機能部のみの取替えの場合は便器洗浄水量は表中と異なる場合があります。
 ※この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用はおやめください。

無料修理保証書

この保証書は、この保証書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
 お取付日から下記期間中故障が発生した場合は、この保証書をご提示のうえ、お取付店
 または東陶メンテナンス㈱に修理をご依頼ください。

お 客 様	おなまえ		様
	おところ		
お 取 付 店 名	おところ		様
	おところ		
お 取 付 日		年 月 日	

品 番	TCF965 TCF960
保 証 期 間	お取付日から1ヵ年

★お客様へ
 この保証書をお受取りになるときに、お取付年月日、お取付店名、扱者印が記入してあることを確認
 してください。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合は、表記の
期間無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お取付店または東陶メンテナンス㈱にご依頼のう
え、出張修理に際してこの保証書をご提示ください。
- ご贈答品などでこの保証書に記入してあるお取付店に修理がご依頼できない場合には、東陶メンテ
ナンス㈱にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の不注意、過失による不具合および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お取付後の移設などに起因する故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害やガス害(硫化水素ガス)、塩害、異常電圧によ
る故障および損傷。
 - 指定外の電源(電圧・周波数)、異常水質による故障および損傷。
 - 一般家庭用以外(例えば業務用の長時間使用、車輦、船舶への搭載)に使用された場合の故障および
損傷。
 - 砂やゴミかみによる不具合および乾電池・パッキンなど消耗品の損傷。
 - この保証書の提示がない場合。
 - この保証書にお客様名、お取付店名、お取付日の記入のない場合、あるいは字句を書替えられた場
合。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
- この保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は上記に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって
 この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理な
 どについてご不明の場合は、お客様相談室または東陶メンテナンス㈱にお問合せください。

東陶機器株式会社

〒802-8601 北九州市小倉北区中島2丁目1番1号 TEL.093(951)2111